



2010年6月21日

各位

会社名 日神不動産株式会社
代表者の役職名 代表取締役会長兼社長 神山 和郎
(コード番号:8881 東証第一部)
問い合わせ先 取締役兼執行役員専務 藤岡 重三郎
電話番号 03 - 5360 - 2011

更生会社多田建設株式会社への経営支援(株式取得による子会社化)に関するお知らせ

当社は、2010年6月21日開催の取締役会において、経営再建中である更生会社多田建設株式会社(以下、「多田建設」といいます。)に対する経営支援に関し、同社管財人である弁護士清水直氏と以下の通りスポンサー契約書(以下、「本契約書」といいます。)を締結することを決議し、同日、本契約書を締結致しましたので、お知らせ致します。

また、これに伴い、多田建設は、2010年6月30日を以って当社の連結子会社となる予定です。

1. 株式取得の理由

当社では、マンション工事の発注に際し、ゼネコン各社の見積もり・過去の実績を勘案した上で、発注先を決定しております。この過程において、当社は、多田建設の施工技術・納期、協力会社との関係等を高く評価しており、2010年3月期末においても13棟・約72億円のマンション工事を発注する主要な取引先となっております。

このような点を踏まえ、当社では、今後も当社のお客様に対して高品質な物件を継続して安定的に提供してまいりべく、同社に対する経営支援を検討し、必要な諸手続を経た結果、本日の本契約書締結に至りました。

今後の多田建設においては、安定した経営体制の下、当社グループ以外の工事受注についても積極的に取り組み、同社の健全な再生に努めてまいりたいと考えております。

2. 株式取得の方法

多田建設は、既に認可された更生計画に基づき、2010年6月30日に100%減資を実施し、併せて実施する同社の第三者割当増資に基づき発行される株式の全て(普通株式6,000株、払込金額5万円、払込金額の総額3億円を予定)を当社が引き受けることにより、多田建設は当社の完全子会社となる予定です。

また、出資後の多田建設に対し、当社より以下の者を派遣(兼任含む)する予定です。

事業管財人	堤 幸芳(現 当社取締役兼執行役員専務)
事業管財人代理	細根 栞(現 当社取締役兼執行役員)
取締役	黒岩 英樹(現 当社執行役員経理部長)
取締役	佐藤 俊也(現 当社設計部長)
監査役	倉野十一郎(現 当社監査役)

3. 多田建設の概要

(1) 名 称	多田建設株式会社		
(2) 本店所在地	東京都江東区大島2丁目8番6号		
(3) 代表者の 役職・氏名	管財人 清水 直		
(4) 事業内容	建設工事の企画、設計、監理及び施工 他		
(5) 資本金	10億円		
(6) 設立年月日	1947年6月18日		
(7) 大株主及び 持株比率	株式会社エー・エル・ティー・ホールディングス 95.9% (平成22年3月23日現在)		
(8) 上場会社と 当該会社との 間の関係	資本関係	当社と多田建設の間には、記載すべき資本関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と多田建設の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本関係はありません。	
	人的関係	当社と多田建設の間には、記載すべき人的関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と多田建設の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき人的関係はありません。	
	取引関係	当社は、多田建設に対し、マンション建設工事の発注を行っており、請負契約を締結しております。	
(9) 当該会社の最近3決算期の経営成績及び財政状態			
決 算 期	2008年9月22日期 ^{注1} (2008年7月1日～ 2008年9月22日)	更生1期 (2008年9月23日～ 2009年9月22日)	更生2期 ^{注2} (2009年9月23日～ 2010年3月23日)
売 上 高 (百万円)	5,666	32,626	4,452
営 業 利 益 (百万円)	▲676	5,385	▲292
経 常 利 益 (百万円)	▲721	5,023	▲279
当 期 純 利 益 (百万円)	▲616	▲6,540 ^{注3}	5,689 ^{注4}
1株当たり 当 期 純 利 益 (円)	—	—	616,941
1株当たり 配 当 金 (円)	—	—	—
1株当たり 純 資 産 (円)	—	—	66,396

注

- 2008年9月22日の更生手続開始決定に伴い、2008年7月1日を期初とする決算期は、同年9月22日を最終日(期間：2ヶ月22日)としております。
- 2010年3月23日に更生計画が認可されたことに伴い、2009年9月23日を期初とする更生2期につきましては、2010年3月23日を最終日(期間：6ヶ月1日)としております。
- 更生手続開始決定後、主に財産評定損8,229百万円を特別損失として計上したことによるものです。
- 更生計画の認可に伴い、主に債務免除益4,724百万円を特別利益として計上したことによるものです。

4. 株式取得の日程

2010年6月21日 取締役会決議・スポンサー契約締結
2010年6月30日(予定) 増資払込

5. 今後の事業展開について

当社による経営支援の下、多田建設では、マンション建設・土木関連公共工事といった対外的な営業活動を通して、3年後(2013年3月期)を目処に、当社グループ以外への売上高として年間100億円以上を目指すと共に、当社グループ全体としましては、売上高500億円を目指してまいりたいと考えております。

売上高(概算)の内訳 (単位:億円)

	当社連結	当社個別	多田建設 (グループ外売上)	日神グループ各社
2013年3月期 目標	500	330	100	70
2011年3月期 予想 (詳細につきましては、本日別途公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。)	425	295	70	60
2010年3月期 実績	310	256	—	54

※多田建設以外のその他連結会社による売上高につきましては、「その他」欄に記載しております。

また、利益面に関しましては、2013年3月期において、連結経常利益50億円・同利益率10%を目指します。

加えて、商品開発の面では、当社の主な顧客である1次取得者の消費者ニーズと販売価格を配慮しつつ、多田建設の既存技術との相乗効果により、環境に配慮したエコロジーマンションの開発に積極的に取り組むなど、同社への出資を通じて、グループとしての社会的責任の向上を図ってまいりたい所存です。

6. 業績の見通し

本件に伴う当社連結業績への影響につきましては、本日別途公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

以上